

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	地域における高齢者福祉分野と障害者福祉分野との連携に関する研究				
研究組織	代表者	所属・職名	経営情報学部・准教授	氏名	木村 綾
	研究分担者	所属・職名	経営情報学部・教授	氏名	東野 定律
		所属・職名	経営情報学部・講師	氏名	天野 ゆかり
	発表者	所属・職名	経営情報学部・准教授	氏名	木村 綾

講演題目	地域における高齢者福祉分野と障害者福祉分野との連携に関する研究
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>地域において、医療・介護・住まい・生活支援・社会参加の支援が必要な者は高齢者に限られず、経済的困窮者、単身・独居者、障害者、ひとり親家庭や、これらの要素が複合したケースも含め多様に存在する。そのため、全ての人が地域で暮らし、生きがいを共に創り、高め合う「地域共生社会」の実現が目指され、地域包括支援センター等を基盤として多世代型の地域包括ケアシステムを推進する自治体が出てきている。</p> <p>しかしながら、地域包括支援センターだけでは解決できない事例が増えてきており、他分野との連携が必要となってきている。特に、地域においては障害を抱える人たちのケースが増えてきており、障害者相談支援事業所等との連携が欠かせない状況になっているが、それぞれの根拠となる法律や利用できるサービスの違いから対応に苦慮しているケースが少なくない。</p> <p>本研究においては、地域において高齢者福祉分野と障害者福祉分野の連携を進めるために、高齢分野と障害分野の連携に関する研究領域を概観し、今後の方向性について検討することを目的とした。</p> <p>医中誌及び PubMed のデータベースを用いてレビューを行った結果、抽出された文献の総数は非常に少なく、高齢精神障害者支援における精神保健分野と高齢（介護）分野との連携に着目した研究がみられた。地域において、特に 8050 問題に示されるように、中高年知的障害者と高齢の親が同居する世帯への支援の高まりによるものと推察される。また、研究の対象は主に相談支援に関わる専門職であり、地域包括支援センターの職員、居宅介護支援事業所の介護支援専門員、障害者相談支援事業所の職員であった。研究の内容は、障害分野及び高齢分野の複合的な課題を有し困難に感じた事例の抽出、連携・協力の実態と課題の把握、情報共有のためのツールの開発であった。そのため、研究の多くは、インタビュー調査や事例分析により、事例の実際や実践状況の把握、課題の整理を行うものであり、研究によるエビデンスの提示までには至っていない状況であった。地域共生社会の実現を目標に障害者も含めた地域包括ケアシステムの構築が目指されるなかで、高齢分野と障害分野の連携は必須であり、有機的な連携により、相談支援業務の効果的な実施、かつ質の高いケアが提供されるために、相談支援に関わる専門職の資質向上のアプローチも必要と思われる。</p> <p>今後は、文献レビューを行い、国内外の研究領域を概観するとともに、有機的な連携の推進に向け、連携の具現化のための研究の方向性や必要性を検討していく必要がある。</p>